

福岡中学校・馬出小学校 建替検討委員会ニュース



はじめに

福岡中学校は校舎が築65年、馬出小学校は校舎が築61年を経過しており、校舎の老朽化に伴う建替えを実施することとしております。

また、福岡中学校は子どもの数が少ない小規模校となっており、小規模校には課題があることから、建替えを機に、今後のよりよい学校のあり方についてあわせて検討するため、「福岡中学校・馬出小学校建替検討委員会」を設置しました。

将来にわたって子ども達の適切な教育環境を確保するために、本委員会で、建替えの方向性などついて、協議していきます。

委員の構成

馬出校区自治協議会及び福岡中学校・馬出小学校ＰＴＡ役員の中からご推薦いただいた方、公民館・会館の館長、各学校長、教育委員会で構成する14名の委員で検討を進めていきます。

◇馬出校区自治協議会の役員	２名
◇馬出校区自治会連合会の役員	２名
◇福岡中学校と馬出小学校ＰＴＡの役員	４名
◇馬出公民館と馬出会館の館長	２名
◇福岡中学校と馬出小学校の校長	２名
◇福岡市教育委員会	２名

第１回委員会を開催しました



日時：令和６年３月11日（月）16：00～
場所：馬出公民館 講堂
議題：委員会規約案及び傍聴要領案について
　　福岡中学校・馬出小学校の建替えの検討について
《詳細は裏面参照》

第１回委員会の協議内容、主な意見

協議内容

・学校の現状、学校規模適正化の取り組み手法（周辺校【箱崎小･箱崎中/千代小･千代中/東吉塚小･吉塚中】との統合、施設一体型による小・中学校整備）、今後のスケジュール等について説明し、意見交換を行いました。

主な意見

・（通学距離等のデメリットを踏まえると）隣の学校と統合することについては、難しいと考えている。
・校区の活動の中心である馬出小の敷地に、施設一体型小中連携校を設置することが望ましい。
・福岡中も馬出小も非常に歴史ある学校なので、校名・校歌・校章はそのまま残していきたい。
・福岡中の通学路は道路が狭く、車との接触の危険性がある箇所もあり、馬出小の方が安全に通学しやすい。
・施設整備について、地域や学校からの要望を聞き取り、計画を立ててほしい。
・敷地面積が狭いため、馬出小に一体型で建て替える場合は、土地を有効活用する工夫が必要。

今後の進め方

・次回以降の委員会において、取り組み手法の決定、工事期間中の学校運営の検討、合意事項の確認などを進めていきます。

お問い合わせ先
福岡中学校・馬出小学校建替検討委員会事務局
（教育委員会通学区域課）
TEL：711-4252　FAX：733-5539
E-mail：tsugaku.BES@city.fukuoka.lg.jp

福岡中学校・馬出小学校の児童生徒数・学級数 （R５.５.１時点）

福岡中学校
生徒数：166人
学級数：7学級（うち特別支援学級1）

馬出小学校
児童数：368人
学級数：14学級（うち特別支援学級2）

馬出校区は小学校１校・中学校１校からなる校区です。福岡中は小規模校となっており、今後もこの状況が続く見込みです。

学校規模適正化の取り組み手法案

学校の統合

２つ以上の学校を統合して、適正な学校規模にするもの

・人間関係の固定化などの課題解消を図ることができます。
・校区変更による地域コミュニティへの影響や、通学距離が長くなることによる子どもの負担増などを考慮する必要があります。
・地域活動やPTA活動は行政区を単位に行われており、また小・中学校は中学校区の中で教育活動や地域活動において密接な関わりを持っているため、原則同じ行政区、中学校区の中で検討します。

施設一体型による小・中学校整備

小学校と中学校の校舎を１つにして整備するもの

・実質的な児童生徒数が増加することで、学校行事の幅が広がったり、学習をする上で色々な形の集団を作ることや、学年を超えて多くの人と交流する機会を持つことができるようになり、社会性を育て、切磋琢磨し、多様な考え方に触れる機会をつくることができると期待できます。
・小学校から中学校へのスムーズな移行、小・中学校の９年間を見通した教育活動の充実など、小中連携教育の充実を図ることができます。

＜施設一体型で整備する場合の校地の比較案＞【イメージ】

既存の校舎を解体し、新しく小中学校校舎の建設を検討します。

	（案１）馬出小校地に建て替え	（案２）福岡中校地に建て替え
校地図及び建替えイメージ		
建築年	昭和33年（築65年）	昭和37年（築61年）
校地面積	18,301㎡	19,593㎡

※校舎配置等はイメージであり、委員会の協議結果を踏まえ具体的に検討します。